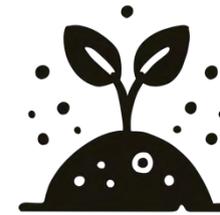




動き続ける式

「建築は新たな式を生み出す行為である」

自然界に存在する四則演算

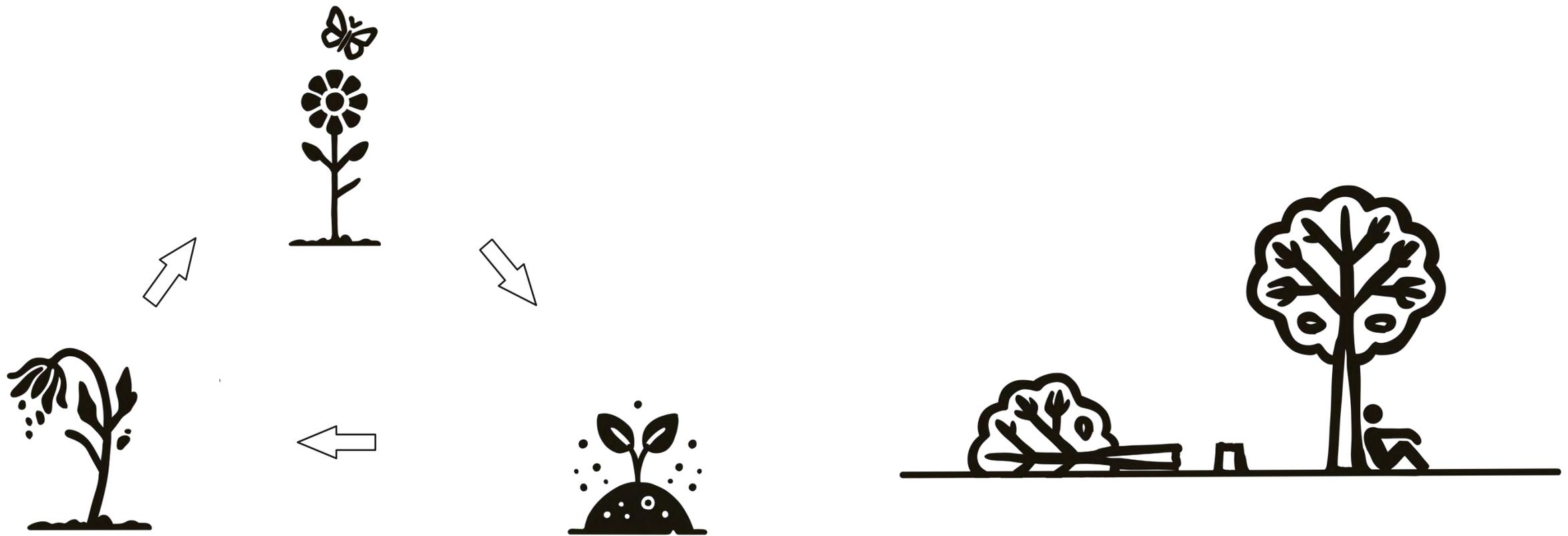


人が関わり四則演算が加速



建築が長く存在し続けるように文明が進化したことによって
変化のない建築が生まれる

その中での体験すらも固定されてしまう



マイナスから連鎖的に生まれる
四則演算たち

式が動き続ける建築

あえて－を起こさせることでそれを打ち消す

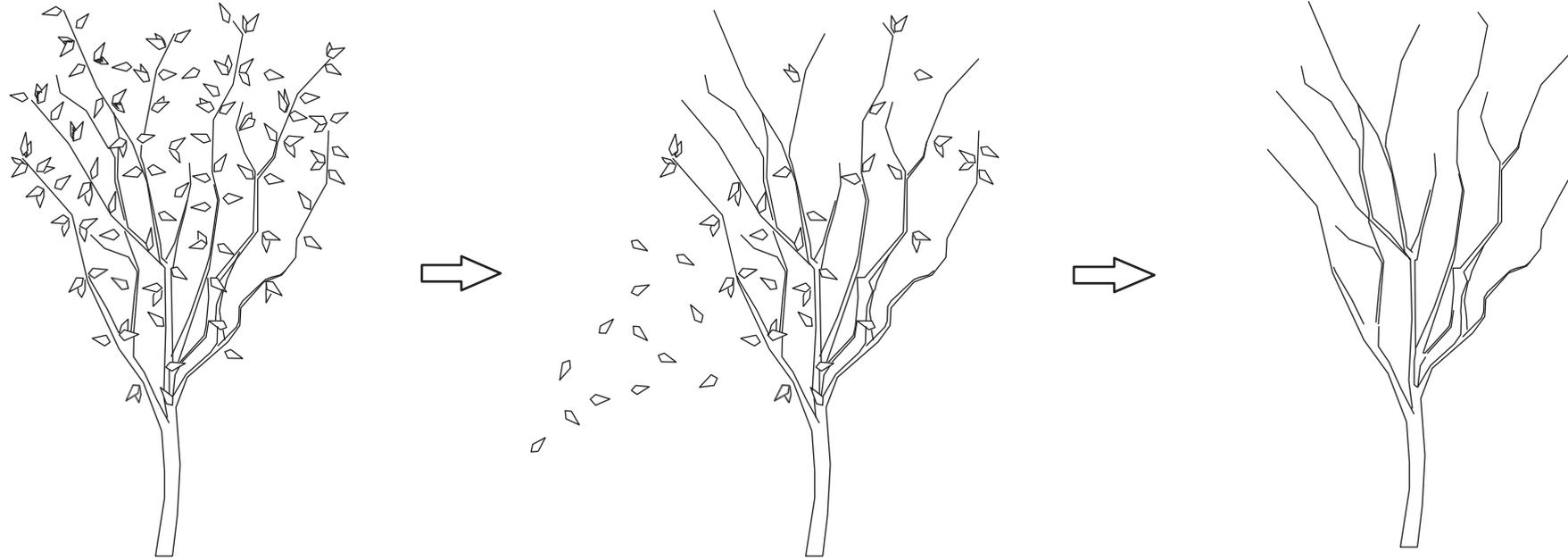
＋、人々の交流などが連鎖的に発生

予測不能な形となって建築は現れる



粘土のメリット

・循環の一部になる



物質的な一から予測不能な四則演算が
引き起こされる

粘土のメリット

・自由な創造

その場の人々が作りたいものを自由に
作り出すことができる

粘土を媒介にコミュニケーションも
発生

木の持つ四則演算の要素

光と影がランダムに揺れ動き、変化し続ける

木の上は野生動物や虫が集まる

木陰や木の下は人が自然と集まる
居場所となる

落ち葉はやがて肥料となり土壌
を育てる

